

綾瀬市教育委員会



教職員の情報漏えい対策を ARCACLAVIS Revo で強化 データ暗号化と IC カード認証でセキュリティリスクを大幅に低減

「 ARCACLAVIS Revo を活用し、教員が USB メモリで持ち運ぶ情報の暗号化と、IC カードを用いたシングルサインオンの仕組みを構築しています。セキュリティの強化と校務を妨げない利便性の向上を両立するツールとして ARCACLAVIS Revo は不可欠な存在になるでしょう 」



<http://www.city.ayase.kanagawa.jp/>

Customer Profile

組織名：綾瀬市教育委員会
所在地：神奈川県綾瀬市
導入校数：小学校 10 校、中学校 5 校
導入製品：ARCACLAVIS Revo
使用開始時期：2014 年 3 月



綾瀬市のマスコットキャラクター「あやびい」。市の鳥、カワセミをモチーフに、平成 20 年の市制 30 周年を記念して生まれました。

学校 ICT 環境の整備で 教育環境の充実を図る

神奈川県ほぼ中央に位置する綾瀬市は、横浜から約 20 キロメートル、東京中心部から約 40 キロメートルの距離にあり、首都圏のベッドタウンとして発展を遂げてきた。現在、約 84,000 人が暮らす同市では、「新時代あやせプラン 21 後期基本計画」を推進。教育の事業分野では、「心豊かな教育の推進」「多様な教育を支える学校教育環境の整備」をベースに、学ぶ楽しさを知り、自ら考え行動し、健やかでたくましい児童・生徒を育むまちづくりを目指している。

同市で小学校 10 校と中学校 5 校を管轄し、子どもたちの良質な教育環境を支えているのが綾瀬市教育委員会である。同組織は学校施設・設備の計画的な改修を進め、教育環境を充実させるさまざまな施策を展開してきた。学校 ICT 環境の整備はその 1 つだ。

たとえば、平成 19・20 年の 2 カ年をかけて約 450 人の教職員に 1 人 1 台の校務用 PC を配布。その 2 年後に校内 LAN を整備し、普通教室でのインターネット環境の構築、全 15 校の普通教室に天吊

り型のプロジェクターを常設した。これにより、教員は校務用 PC を普通教室の LAN ケーブルとつなぎ、80 インチのスクリーン画面を使って授業を行えるようになった。また、児童・生徒の学習意欲を高めるため、平成 23・24 年の 2 カ年で市内全 15 校でデジタル教科書を活用できる教育環境を整えた。

平成 25 年度、教職員に配布していた校務用の PC 約 450 台、小学校 1 校の PC 教室に設置していた児童・生徒用のデスクトップ型 PC をリプレースする必要が出てきた。これらの PC は Windows XP を搭載しており、平成 26 年 4 月の OS サポート終了までにリプレースする必要があったのだ。

そこで綾瀬市教育委員会は、全 15 校の校務用 PC 及び小学校 1 校の PC 教室を刷新するプロジェクトを立ち上げた。小学校 1 校の PC 教室には児童・生徒用にノート PC を 40 台導入し、うち 20 台をタブレット端末にする方針を固めた。教育総務課 参事兼課長 坂田秀彦氏は、「たとえば、タブレット端末で跳び箱の試技を撮影し、すぐにチェックできる環境があれば、失敗した生徒は次の成功につなげるヒントを得られ

ます。タブレット端末を導入した狙いは、パソコン教室の外でも機器を利用して生徒の効果的な学習を促すこと、教職員の指導力を向上することにあります」と語る。

児童・生徒のプライバシー情報 漏えいを未然に防ぐ

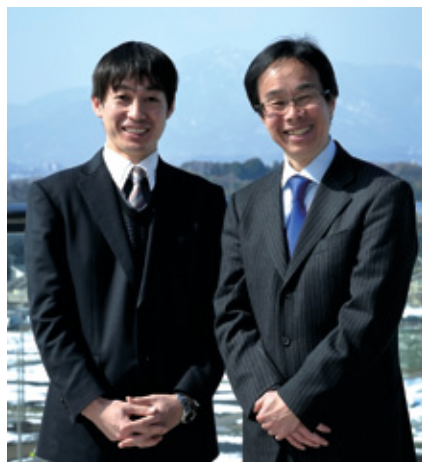
教職員が校務に使用する環境は Active Directory のグループポリシーを活用し、デスクトップに置かれたすべてのデータはサーバに保存される仕組みになっている。PC のハードディスクにはデータが残らない仕様だ。とはいえ、見かけ上デスクトップにあるデータを USB メモリにコピーして校外に持ち出すことはできる。そのためのデータ暗号化ツールを使用してきたが、使い勝手やパフォーマンスなど現場の要求にこたえられる機能を備えていなかったという。そこで、今回のシステム刷新プロジェクトの一環として、教職員の情報漏えい対策を強化することも求められた。

教育総務課 森町 翼氏は、「私用のUSBメモリに必要なデータをコピーして持ち帰り、自宅で作業したい教員もいるのですが、暗号化ツールを使えるのは連絡先情報や成績情報などの特に重要なデータを扱うときだけでした。学級通信などに使いたい写真データを持ち帰ろうとしても、暗号化は不可能だったので」と話す。

USBメモリは持ち運びやすく便利だ。一方、盗難・紛失に伴う情報漏えいのリスクも大きい。このため、新たな暗号化ツールを導入する必要があった。

当時、教職員はPCにログインする際、パスワードを用いた本人認証のプロセスを踏んできた。しかし、教職員の多くはパスワードをメモに記載しており、それが情報漏えいを招く重大なリスクになっていたという。セキュリティの観点から物理キーを用いたシングルサインオンの仕組みも求められた。

そこで同組織はこれらの課題を解決するツールの調査を始めた。暗号化ツールについては、USBメモリにデータをコ



綾瀬市教育委員会

教育総務課 森町 翼氏 (左)

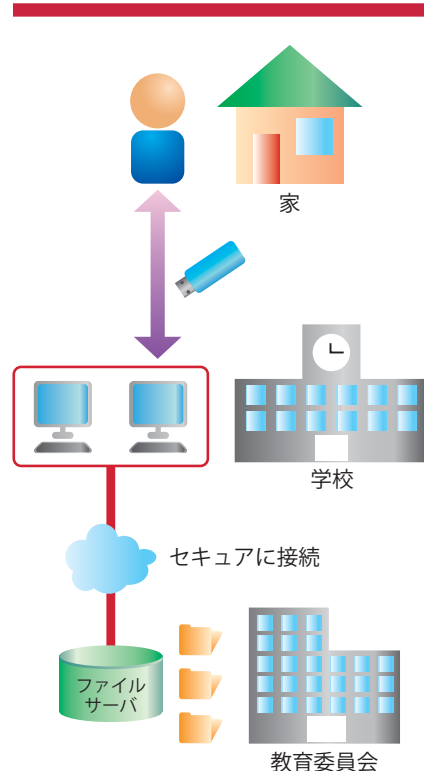
教育総務課 参事兼課長 坂田 秀彦氏 (右)

ピーする際の暗号・復号処理のパフォーマンスを重要な要件として定義。教育関係者向け展示会に参加した際、すべての要件をクリアしたARCACLAVIS Revoでの運用を検討し、導入の方針を固めた。森町氏は、「既存の暗号化ツールには、運用の複雑性に課題がありました。自動暗号・復号機能や、暗号化したまま持ち出せる機能などで課題をクリアできる点がARCACLAVIS Revoを選定したポイントです。またICカードを用いたシングルサインオンの仕組みを柔軟に運用できることもあり、導入に踏み切ったのです」と話す。

ポリシー策定と教職員への徹底でセキュリティを強化

綾瀬市教育委員会は平成26年3月、全15校を対象にしたコンピュータ環境の刷新プロジェクトを完了させた。プロジェクトが完了後、約500人の教職員はARCACLAVIS Revoによるデータ暗号化の仕組みを利用できるようになった。従来の仕組みに比べ、暗号・復号に要する時間は劇的に短縮し、USBメモリにコピーするデータは暗号化される仕様にしたため、教員はストレスなくデータを持ち帰り、安心して自宅作業できるようになった。

今後は、ICカードを用いたシングルサインオンの仕組みを実装する計画だ。認証用リーダーライタにICカードをかざしWindowsログオンをしていれば、たとえば、メールなどに必要なパスワードが自動入力されるため、教職員はシステムによっていろいろなパスワードを管理する必要がなくなった。



また、万一、ICカードの盗難・紛失に遭っても、当該ICカードを即時に無効化できるため、情報漏えいリスクを大幅に低減することが可能だ。

坂田氏は、「新システム導入に伴い、セキュリティポリシーの大幅な改正を実施しました。ICカードの利用ルールや紛失・盗難に遭った際の対処方法などを含めたポリシーを策定し、それを各校に徹底させることもわれわれの重要な仕事です。児童・生徒が楽しく、意欲的に学習し、より充実した学校生活を送れるよう、今後もICTを活用した教育環境づくりを推進していきます」と話している。

JAPAN SYSTEMS ジャパンシステム株式会社

- 本社 〒151-8404 東京都渋谷区代々木1-22-1 代々木1丁目ビル3階
TEL 03-5339-0300 / FAX 03-5309-0311
- 東海支店 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-28-21 愛知建設業会館6階
TEL 052-263-3911 / FAX 052-263-5228
- 関西支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-5-17 堂島グランドビル4階
TEL 06-6341-0771 / FAX 06-6341-0774
- 北海道営業所 〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西9丁目1-15 井門札幌S109ビル4階
TEL 011-206-2931 / FAX 011-232-0820
- 九州営業所 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル2階
TEL 092-474-9311 / FAX 092-481-3105

本書に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。本資料は2014年4月現在の情報を元に作成された物です。製品の仕様、機能等は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。 ©2014 Japan Systems Co., Ltd. All Rights Reserved.

<http://www.japan-systems.co.jp/>